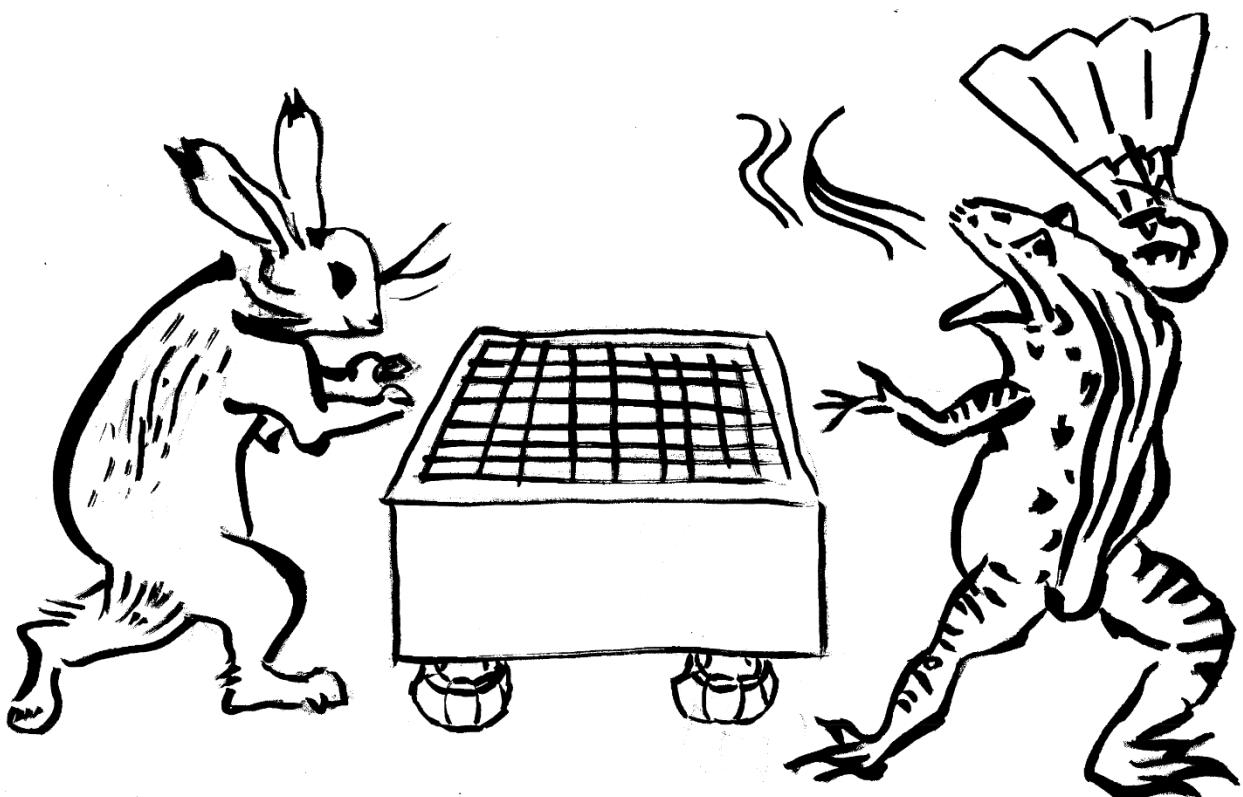


三漢住木文 将棋部



CONTENTS

奨励会員記	78回 松崎大和
嬉野流	79回 永見榛大
AIと将棋～その影響と問題の展開を中心として～	79回 ひきこもりもり
袖飛車のすゝめ	80回 椎茸
6七銀型角交換振り飛車	80回 石川大智
三間飛車&四間飛車対策～こいなぎ流銀冠～	80回 かつお



オンライン版でも
お楽しみください!

まえがき

こんにちは！ 第79回 瀬校文化祭“weave”、楽しんでますか？

僕たち瀬校生はご来場いただいた皆さんに最大限楽しんでいただきたい、
その一心でこの文化祭を作り上げてきました。
是非、この文化祭の細部に宿る思い、こだわりにも着目してみて下さい。
そこで僕たちの持つエネルギーを感じとっていただければ幸いです。

では、改めて瀬校将棋部へようこそ。
個性溢れる部員達の部誌を、隅々まで味わって下さい。

瀬校将棋部部長 小森 龍太郎

目次

まえがき・目次	1p
奨励会員記	2~4p
嬉野流	5~11p
AIと将棋～その影響と問題の展開を中心として～	12~16p
【コラム1】 コラムについて	16p
【コラム2】 将棋の囲いについて	16p
袖飛車のすゝめ	17~25p
【コラム3】 現代角換わり腰掛け銀の仕掛け	25p
【コラム4】 ゴキゲン中飛車を指そう！	25p
6七銀型角交換振り飛車	26~31p
【コラム5】 空中楼閣	31p
三間飛車&四間飛車対策～こいなぎ流銀冠～	32~35p
あとがき・奥付	36p

1. 奨励会とは

そもそも奨励会とは何なのかについて説明しましょう。少し冗長になります。ご存知の方は読み飛ばしていただいて構いません。奨励会は正式名称を新進棋士奨励会といい、日本将棋連盟のプロ棋士養成機関です。要はプロ棋士になるために入る修行場みたいなものですね。一応棋士編入試験制度という別の方でプロ棋士になることもできるのですが、基本は奨励会を勝ち抜かないとプロ棋士にはなれません。

話が逸りますが、去年から今年の1月にかけて女流棋士の西山朋花先生が棋士編入試験を受験なさったことは将棋界で大きな話題になりましたよね。勝てば合格 負ければ不合格の第5戦で惜しくも敗れてしまつたものの、「初の女性棋士誕生か?」と将棋界を盛り上げてくださいました。本当に尊敬する先生の1人です。ちなみに西山先生の第5戦の相手である柵木幹太先生は僕の師匠である増田裕司先生の弟子なので、僕の兄弟弟子に当たります。師匠は「もちろん柵木に勝つて欲しいが、将棋界としては西山女流が勝つた方が盛り上がるだろうな」と、板挟みになつて頭を悩ませておられました笑。

話を戻します。基本は奨励会を勝ち抜かないといふことはないというところまでお話ししたね。では具体的にどれだけ勝てば良いのかをお話ししましよう。まず最初に奨励会入会試験に合格しなければなりません。これは毎年8月に1度だけある試験で、合格するのはなかなか大変です。僕も3回落ちました笑。この話は後でするとしまじょう。入会試験を受験する時、受験級を指定する必要があります。

て合格すれば奨励会1級となるといった具合です。級が上がるにつれ、合格は難しくなつていきます、当然ですが。だいたいの人は6級を受験します。1回の試験で1人ぐらいは5級を受験しますが、それは例外と言えるでしょう。つまりほとんどの人は奨励会6級から始まるということです。そこからプロになると、四段まで昇級・昇段しなければなりません。

4. 受験できる級位

満15歳以下	6級以上
満16歳以下	5級以上
満17歳以下	4級以上
満18歳以下	3級以上
満19歳以下	1級

昇段、昇級

三段から四段への昇段は年2回の三段リーグに参加し、1・2位の成績を取ること。
初段～三段までの昇段点は、8連勝、12勝4敗、14勝5敗、16勝6敗、18勝7敗。
6級～1級までの昇級点は、6連勝、9勝3敗、11勝4敗、13勝5敗、15勝6敗。

降段、降級

三段リーグでの降段は、降段点(勝率2割5分以下)を連続2回取ると二段に降段。
二段以下の場合、2勝8敗以下で降段級点。これを消さない内に2度目を取ると降段級。降段級点を消すには3勝3敗以上の星を認めなければならない。



たことがあるという方も多いいらっしゃるのではないか?半年を1つの期とし、

1期 18

局の成績を競い合つて、プロ棋士になる者を決定する場所です。そこで 26 歳までに成績上位 2 位に入る、もしくは次点(成績上位 3 位)を 2 回取ることで、めでたく四段昇段を果たすことができます。ちなみに我が兄弟子柾木先生は後者でプロ棋士になられました。また 26 歳までと書きましたが、

26 歳を超えて勝ち越していれば、29 歳まで年齢制限を延長することができます。ち

なみに我が師匠増田裕司先生はこの年齢制限延長の末にプロ棋士になられました。「あれ、意外と三段リーグってイージー芸じゃね?」つて思われたそこのあなた、すいません、僕の説明が悪いです。実際は本当にハードで、プロ棋士になれるのはほんの一握り。これまで年齢制限で奨励会を退会せざるを得なくなつた方は数え切れないほどいらっしゃいます。マジに厳しい世界です。

2. 奨励会入会前

ここはあまり面白くないのでサクッと。僕は奨励会入会前、研修会という別の機関に入っていました。研修会の説明までしていたらいよいよ読者の皆様がこの部誌を閉じてしまいそうなので割愛しますが、高1の時、その

中で B1 クラスに所属していました。これが後でキーになってきます。

3. 奨励会入会試験

奨励会入会試験は 1 次試験と 2 次試験に分かれています。1 次試験では受験者同士が対局し、規定数以上の勝ち星を挙げた者だけが

2 次試験に進むことができます。2 次試験では現役奨励会員と対局し、規定数以上の勝ち星を挙げた者が晴れて合格となります。先ほども書いた通り、僕はこの試験に 6 級受験で 3 回落ちました。中学受験を終えた後から将棋に集中して、中1で初受験するも撃沈。中2でも撃沈、中3でも撃沈。宇宙戦艦ヤマトに出てくる最強の三段空母、全部おしゃかになつてしましました笑。でもその度に色々な人に勧まっていたとき、高1で見事合格。実は高1の受験時、僕は研修会の B1 クラスにいました。B1 クラスにいる者は 1 次試験免除となり、いきなり 2 次試験から始められたのです。これがデカかつた。2 次試験では 3 回のうち 1 回勝てば合格です。ドキドキしながら初戦の対戦相手を聞くと、なんと! 小森龍太郎でした! そう、灘校将棋部の現部長で、僕の後輩です! 彼は今はもう奨励会を退会していますが、当時はバリバリの奨励会員でした。すごい偶然だなと思ひながら指して、なんとか勝利。負けてくれたのかな?

4. 奨励会入会後

晴れて合格した僕でしたが、高1で 6 級は遅い方です。しかも奨励会員になればアマチュアの大会の出場資格を失います。合格したものの入会するべきか迷つていていたが、師匠の説得もあり入会する事に。入会するからには覚悟を決めて頑張ろうと決意したことは今でも鮮明に覚えています。その後、1 年で 2 つ昇級して執筆現在 4 級です。早くもなく遅くもないってところですかね……。若干遅い気もしますね……。早い人はもう 2 級、遅い人はまだ 6 級ですか。ですが僕はスタートが遅いのでこのままではダメだと思つています。最近はどうしても他のことに興味が行つてしまい、将棋に充てる時間が少くなりがちですが、ちゃんと毎日詰将棋と実戦を継続し、最低限の努力をしています(そのつもりです笑)。いつかこの小っちゃな努力が身を結べば良いなと思っています。

5. 記録係

今まで面白くもない奨励会の説明と僕の棋歴紹介に付き合つていたときがありがとうございました。ここからは奨励会員にしか書けないことを書いていきます。奨励会の世界を観いてみたいという方に向けて書きますので、楽しんでいただけると嬉しいです。

皆さんは記録係というものをご存知でしょうか？ プロ棋士の公式戦対局の棋譜を記録する人のことです。指導棋士の先生や若手のプロ棋士、研修会の高校生以上の方が担当することもありますが、基本は高校生以上の奨励会員が担当します。僕も一度担当しました。その時のことについて書いていきます。

2024年11月7日、学校が終わった後の、17時半、当時福島にあつた将棋会館に行きました。初記録だったのでとても緊張していました。この時はまだ誰と誰の対局を記録するかまだ決まっていません。その日は6局の対局があったので、僕の他に5人が記録のために将棋会館の棋士室に来ていました。棋士室というのはプロ棋士、女流棋士、奨励会員しか入れない部屋です（記者の方なども入れますが）。18時、6人全員が揃つたところで、棋力の強い順に記録したい対局を選んで、ルールを知りました。僕はその中で最弱だったので最後に残つた対局を記録するはでした。が、初めてということもあり、記録

係に慣れている指導棋士のO先生の近くにいるべきだということで、O先生が選んだ後に僕がその隣で行われる対局を選ばせていました。対戦カードは長岡裕也六段 vs 今泉健司五段。棋士室で今泉先生に挨拶して、初記録であることを報告しました。18時25分、緊張しながら対局室に入り、夕食休憩が終わって対局が再開する18時40分まで正座で待機。

18時半になると長岡先生が対局室に戻つてこられたので挨拶し、こちらでも初記録であることを報告しました。18時40分、対局が再開。僕の緊張はマックスに達していました。ですが始まつてみると意外と普通でした。局面を考えながら指し手をタブレットに入力するのみ。やっていけそうだと思っていましたが、やがて今泉先生が待ち時間を使いつり1分将棋に突入。記録係は秒読みも担当するので僕の仕事が慌ただしくなりました。そして、ここで恐れいたことが！ ふと緊張が解けてしまい、秒読みを忘れたのです！ 本来なら、30秒…40秒…50秒、1、2、3、4、5…と秒を読みなればならないのですが、我に帰つた時には、すでに57秒！ 今泉先生は時間が切れる前に着手なさり、時計が切れることはありませんでしたが、僕は顔が真っ青になりました。心臓に冷たい氷が刺さつたようなあの感覚は今でも

忘れられません。長岡先生から「秒読み…」と指摘され、「あつ」と声が漏れてしまいました。すぐに謝りなければならぬと思

い、「すみません」と言いました。今思えば「すみません」よりは「申し訟ありませんでした」という方が丁寧だった気がしますが、その時はそんなこと考えられないくらいに焦っていました。今泉先生は僕の謝罪に対して「はい」とおっしゃい、また局面を考えるのに集中なさいました。こっぴどく怒られることはありませんでしたが、自分の中ではものすごく反省しました。その後は気を抜くことなくやりとげ、23時半に将棋会館を出ました。本来なら後片付けなどをしなければならなかつたのですが、高校生が終電を逃すのはダメだとO先生が気を遣つてくださり、「代わりに片付けるから早く帰りなさい」と言つてくださいました。本当に感謝しています。

以上が初記録体験記です。上手く行つたとは言い難いですが、プロ棋士の先生の対局を目前に見られたことは貴重な経験になりました。終電を逃したくないのであまり積極的には記録をとりたくないのですが、また機会があれば挑戦してみたいなと思っています。

以上、奨励会員記でした。いかがでしたでしょうか？ ここまでお付き合いいただいた方、ありがとうございました。



嬉野流

79回 永見 棟大

それでは、先手番の場合を紹介します。

嬉野流

【参考図1】

初手からの指し手

●6八銀△3四歩●5六歩△3二金
5七銀△4四歩●2六歩△5一金
2五歩△3三角●3六歩△4三金右

●4六銀【第1図】

【第1図】

この記事では、2023年の第50回将棋大賞で升田幸三賞を受賞された嬉野宏明氏が考案した「嬉野流」について紹介しようと思います。しかし、対棒銀などといった、典型的な変化なんて見飽きた、という方もいるかと思いますので、今回は少し変わった形を紹介します。

はじめに

嬉野流は、初手 ●6八銀△5六歩△7九角という奇抜な形で2019年ごろから一気に有名になり、指す人も増えました。指される回数が増えると、当然嬉野流対策も考えられるようになりました。その中で最も有力だったものの一つが菊水矢倉です。当時嬉野流使いは、菊水矢倉にかなり苦しめられるようになりました。しかし今日では、将棋ウォーズなどで嬉野流を指しても菊水矢倉で対抗されることはかなり少くなりました。嬉野流は、どのようにして菊水矢倉を克服したのか。これを解説しようと思います。稚拙な文章ではあります、どうか最後までお読みいただき、嬉野流の魅力を感じていただけたら幸いです。

そもそも菊水矢倉とは、【参考図1】のようないで、嬉野流が大好きな2筋での角や銀の交換を避けることを目的としています。



△なし

●なし



△なし

●なし

このような局面から ●3五歩としても、△同歩 ●同銀△3四歩とされてしまい、せっかく前に出した銀を引かざるを得なくなってしまふのでこれでは失敗してしまいます。嬉野流側は、【参考図1】のような局面を作らないよう工夫する必要があります。

【参考図1】以降の指し手

△2二銀●3五歩△同歩●3八飛【第2図】

【第2図】



持たせられるため先手が微有利となっています(+250点ほど)。

【参考図2】



【第3図】



【第2図】以降の指し手
△8四歩 黒7八金 △8五歩 黒6九玉
【第3図】

先述した「工夫」は、いたつてシンプルで、相手に囲い切られる前にガンガン攻めに行くことです。黒3五銀をうまく通すことが対菊水矢倉では肝となります。嬉野流の定番とも言える黒7九角を指している暇なんてありません。なお、△2二銀の代わりに△4五歩と指す手も考えられますが、この場合は落ち着いて△5七銀と指し、△4八銀上～△3七桂～△6九玉～△4六歩【参考図2】というように、相手の駒の連携があまり強くないうちに△4五歩を狙う方針で指すと良いと思われます。【参考図2】の局面では、この後△同歩同銀△7四歩△4七銀として、形に厚みを



【参考図3】



【第3図】以降の指し手

△8六歩 黒△同歩 △8二飛
●4八銀 【第4図】
△8七歩

3五銀はいつでもできるので、急いで指すのではなく、一度落ち着いて4八銀として駒組みを固めていきます。△8二飛の局面で△5六飛とする手も考えますが、このときには△3五飛 △5四飛 ●3七桂 【参考図4】とすれば先手有利。（+300点ほど）

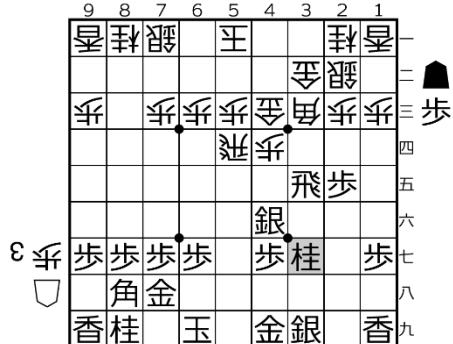


【第4図】

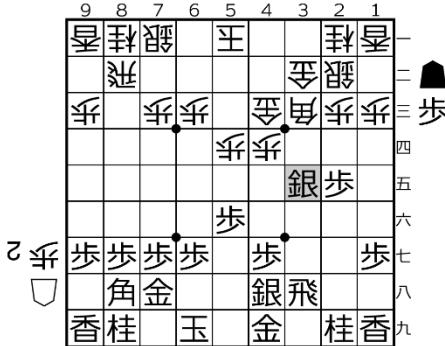


【第4図】以降の指し手

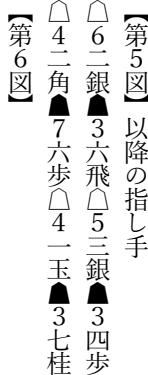
△5四歩 黒●3五銀 【第5図】



【第5図】

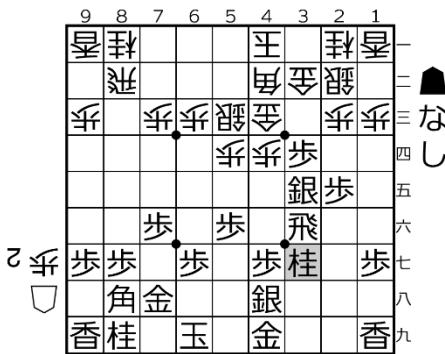


後手は角や右銀の活用を目指して△5四歩としますが、ここでようやく●3五銀。このタイミングで銀を上がるメリットとして、●3五銀とした後に△8六歩●同步△同飛●8七歩△5六飛とされたときに●4六銀【参考図5】とすれば、相手の飛車が5四に引けなくなっていることが挙げられます。後手は受けに回らざるを得なくなります。



【参考図5】

【第6図】



△5銀以外の手（例えば、△4一玉）を指してしまうと、●3四歩△4二角●3六飛△6二銀●3七桂とされ【参考図6】、この後の△4六歩●4五歩からの攻めがあまりにも厳しいので後手としては避けたいところ。それゆえ●7六歩を警戒して後手は△6二銀と指してきますが、やることは結局変わりません。



【参考図6】



【第6図】以降の指し手

△3三歩 黒△同桂 □同桂
△4五桂 黒△同歩 【第7図】
3四歩

後手は先手の3七桂を放置しておくと、
六歩△4五歩の攻めがやはり厳しいので、
無理やり桂交換を仕掛けてきます。桂馬が無
くなつて少し攻めづらくなつてしまつたよう
に見えますが、ここまで攻撃の手をやめ
るわけにはいきません。うまく攻めを繋げて
いきましょう。

【第7図】以降の指し手

△4六歩 黒△同歩
△6五桂 □5二桂 【第8図】
△4四歩

【第7図】



△2桂

△4六歩に対しても△同歩ではなく△9五桂と
するのは、冷静に△7九桂と受けければなんと
か耐えています。△7九桂以下△8七桂成

△同金△8六歩 黒△7七金 【参考図7】で先手優
勢。後手は△4六歩を無視するわけにはいか
ず、仕方なく△同歩と指します。これに対し
て△同飛とすることで先手は飛車をうまく利
かせることに成功しました。また先手は△6
五桂と攻めに持ち駒の桂を使っているのに対
し、後手は受けに使つているという点において、
先手がかなり指しやすい展開になつてい
ます。

【第8図】



△2歩

【参考図7】



【第8図】以降の指し手

■5三桂成△同角 ■5五歩△同步
同角△5四歩 ■7七角 【第9図】

【第9図】



ここからはじわじわと相手の囲いを解体していくきます。銀桂交換をしたのち ■5五歩と指すことで飛車の横への利きを増やすことに成功しました。また、 ■7七角と引くことができたことで、形も安定させられる上に、 △9五桂を防ぐことにも成功しています。

【第9図】以降の指し手

△8二歩 ■同角△6四角 ■4五歩
△9五桂 ■4四歩△同桂 ■同角 【第10図】

【第10図】



ここからは激しい攻め合いが続きます。後手は △6四角として飛車取りをかけてきますが、もしこのタイミングで飛車を取られても先手は飛車に強い形をしており、 △2九飛とされても ■3九金△1九飛成 ■2二銀△1八竜【参考図8】で竜の動きが非常に弱くなるので、この飛車取りは無視しても特に問題ないです。したがって △6四角に対しては ■4五歩と指せば良いです。これに対する △9五桂は少し怖いですが、先手の攻めのほうが早いので受ける必要はありません。



【参考図8】



【第10図】以降の指し手
 □4六角 **同銀** □4四金 7一角
 □3六角 **5八歩** □4二飛 **3三桂**
 【結果11図】

先手は駒損となります、その代わり後手の陣形を大きく乱すことに成功しました。また先手玉は意外と固く、飛車角を使われてもすぐには崩されることはできません。後手は豊富な持ち駒がありますが有効な攻めの手段がなく防戦一方となるためこの局面では先手勝勢と言えるでしょう。

菊水矢倉に対しては、このように居角+袖飛車の形を素早く作って対抗することで嬉野側は圧倒的優位を築くことができるのです。

【結果11図】



嬉野流

最後に

いかがだったでしょうか。この棋譜を見ていただくとわかる通り、嬉野流は自分の主張を押し付けまくつて、相手の主張を通させなくなる、ということが非常に得意で、指していてとても楽しい戦法です。これがうまく決まつた時ほど気持ちのいい瞬間はないと思っています。また、早いタイミングで戦闘が勃発することが多く、攻めるのが好きな方や、中盤以降の読みに自信があるという方にピッタリの戦法と言えるでしょう。最近では嬉野宏明氏がyoutubeチャンネルを開設されたそうで、この記事を見て嬉野流を指してみたくなつた方（いるのかな……？）は是非見てみてください。非常に参考になると思います。

ここまで読んでいただきありがとうございました。

こんにちは。灘校将棋部現部長、ひきこもりもりです！ 文化祭楽しんでますか！

さて、部誌を書くにあたり、僕は1月末に行われた長崎の将棋新人戦全国大会の参戦記を載せるつもりでした。しかしあつさり Best

16で負けてしまい、特に見どころもなく大

会が終わってしまったのです。というわけで本記事では灘校生魂をむき出しにして、論文

風に現代将棋界にAIが与えた影響について考察してみました。片手間に読んでいただければ幸いです。

はじめに
2025年現在、AIの進化は止まらない。生成AI、人工知能、10年前は夢の技術だと思われていたものはすでに実現されている。そんな進化の最たる例が、将棋AIである。

本文ではAIの進化が将棋界に与えた影響についての分析・考察を行う。紀元前3000年からあるボードゲームの歴史の中でも、将棋はかなり特異な部類に入る。それは取った相手の駒を使えるという特徴に由来する。だが、そんな複雑な将棋において、現在AIは人間を超えた絶対的存在となつた。

オセロ、チェス、囲碁、そして将棋。あらゆるボードゲームにおいて、最先端はAIであり、既に人間は決してAIには勝てない。そして、このままAIが進化を続ければ、それぞのボードゲームにある無限通りの可能性をAIが全て踏襲し、必勝法が編み出される可能性も全く否定できない。

将棋界はAIによつてどのような影響を受けたのか。

これからどのようにして絶対的な存在であるAIとの共存を実現するのか。

本文でこれらの問い合わせ合っていく。

1. AIが将棋界にもたらした進化

前述のとおり、AIが将棋界にもたらした多大な影響を読み解いていく。この章ではいい影響、発展について考察していく。

1.1 人間の棋力の大幅な向上

AIの登場で、人間の将棋の棋力は飛躍的に向上した。

最強棋士たちの全盛期のレーティングを分布や勝率ではなく、将棋の理論値を46000→4700と設定し、指し手の質をもとに算出したデータを紹介する。

【表1】

	時代	実績	レート
六代大橋宗英	200年以前	「近代将棋の祖」	2980
大山康晴	1923~92	タイトル80期	3000前後
中原誠	1947~	タイトル64期	3100前後
羽生善治	1970~	タイトル99期	3300前後
藤井聰太（四段時）	2002~	29連勝	3300前後

(*)

羽生九段が前時代の2人と大きく離れているのは、棋譜データベースの整理がパソコンで可能になった時代が彼つたからだと推測されるが、200離れるのはさすがとしか言いようがない。また、そんな神がかり的な強さを持つた全盛期の羽生九段とデビューしたての



AIと将棋～その影響と問題の展開を中心として～

藤井聰太現八冠は互角だという計算になる。この手法で現在の藤井八冠のレートを算出するなど3700前後、現代の将棋棋士の平均レートは3100前後。（*2）このデータから、将棋そのものの質が向上しているとわかるだろう。中原九段の将棋は現代では並みになってしまって、驚愕の事実だ。もちろん、中原や大山が現代にいれば、どれほどの棋力だったかは未知数であるが。

原因はもちろんAIである。現代の最強AIのレートは4400前後。将棋の理論値が4

600～4700であることが前提のもと話を進めてるので、AIの強さはもはや人間では測れず、観測にもAIを使わなければならぬ。そして将棋AIによって新たな局面がどんどん発見され、答えが出なかつた局面がどんどん結論付けられている。また、ディープラーニングで常に最先端で進化するAIを、我々はトレーニングツールとして使うようになつた。

将棋 자체が急速に進化していること、それがAIによるものであることは疑いようのない事実である。

「電腦戦」というイベントがあつたことを知っているだろうか。棋士とAIが5対5で行う団体戦形式のエキシビジョンマッチだ。

电脑戦から、将棋界はエンタメという観点で大きく変わった。当時の会長、米永氏は「新前線」の大目標に掲げて、予想以上の成果が出たが、予想以上の成果が出た。大盤解説は満席、若い女性の姿もちらほら。「ニコニコ動画」での配信は毎回数百万人の視聴者を集めていた。人が正座している。盤の向こうには無機質な機械が座っていて、実際に指す。それはSFのような異様な光景だった。進化が止まらないAIに対し、経験と観察で立ち向かう人間という構図はまさに当時の社会の縮図であり、大きく注目されたのだと考察する。電王戦によって、ライト層への宣伝は大成功した。

廃止された2017年、AIにもはや人間は勝てない、それが印象付けられた点は衝撃だったかもしれない。しかしそこから、将棋界はエンタメに力を入れ始めた。以前は長時間の将棋の特性上、ただ動かない盤面を見続けるしかなかった。今はどうだろう。解説者と聞き手のトーク、対局者のごはん「勝負飯」、そしてAIを利用した評価値グラフ。対局中継は、将棋を知らない人でもそこそこ楽しめるコンテンツに発展した。プロ同士の高度な対局がAIによって「見える化」されたのだ。それによって「観る将」（*3）が増えた。将棋を扱ったニュースが増えた。劇的な

強さを誇る藤井聰太はもはや日本に知らない人はいないだろう。

他にも棋士をタレントとしてとらえ、早指示の棋戦、チーム戦やドリームマッチ企画などもどんどん実現してきている。以前の将棋、プロ棋士の「お堅い」イメージを改革するという米永氏の未来図は完全に実現された。

AIの他にも羽生善治・藤井聰太のスター性、コロナ禍、将棋ブームなど複合的な要素が絡み合いこの変化は巻き起こつたと見るべきだろう。だが、きっかけは間違いない。AI・電腦戦であつたし、変化の中にも常にAIがあった。「エンタメ」観点から見るとAIは素晴らしい変化をもたらしたと言える。

1.3 普及

前述の将棋ブームが影響したこともあり、将棋自体の知名度が大きく上昇した。

多くの将棋教室ができ、将棋のコミュニケーションが増えた。ここ十年で最も大きかつた要素は、AI研究の一般化、そしてオンライン対局の普及だろう。今まで地方で場所に恵まれなかつた人たちが、力をつけられる環境がパソコン一台で用意できるようになった。若い人たちが、隙間時間に対戦アプリなどで手軽に上達できるようになつた。コロナ禍でも自宅で将棋を楽しみ上達できた。

1.2 将棋のエンタメ化

藤井聰太現八冠は互角だという計算になる。この手法で現在の藤井八冠のレートを算出するなど3700前後、現代の将棋棋士の平均レートは3100前後。（*2）このデータから、将棋そのものの質が向上しているとわかるだろう。中原九段の将棋は現代では並みになってしまって、驚愕の事実だ。もちろん、中原や大山が現代にいれば、どれほどの棋力だったかは未知数であるが。

原因はもちろんAIである。現代の最強AIのレートは4400前後。将棋の理論値が4

ほかにも、女流棋士の活躍や、インターネットによる日本文化としての国際的な広がりも見せつつある。道場に行つても年配の人しかいない、なんて状況はありえなくなった。将棋が女性や若者に普及した事実は大きい。

1.4 他分野への広がり

今までただのボードゲームだった将棋は、将棋AIの台頭から内に秘めていたボテンシャルを社会に対し開花させつつある。

例えば、教育。将棋の経験と頭の良さの関連性は昔から提唱されていたが、近年研究が進んでおり、論理構造理解力や記憶力、忍耐力や精神力にとてもいい影響を与えることがわかった。それから子供を将棋教室へ通わせる親が増えた。小学校の特別授業や学童などで将棋教室を行つたり、塾が将棋教室を1つのプロジェクトとしてカリキュラムに組み込んで将棋教室を行つたりする例もある。筆者も教育方面では灘校生として、将棋プレイヤーとして2つの面から関わらせていただいている。他にも日本文化としての芸術面やゲーム性、言語文化の分野からも注目されている。これらはAIの直接的な影響ではないが、AIを中心としたここ十年の大きな波の中で生まれたの間違いない。

そして、AI界隈。何を隠そう、将棋AIはディープラーニング・機械学習の最先端を行くものだ。日々研究競合が行われて

いる界隈であり、現在そのかわりは非常に深いものとなっている。新しい技術がどんどん投入され、実用化もとても目に見えやすい。近年はプロ棋士でありつつ将棋AIを研究する谷合廣紀氏のような人も出てきた。将棋AIは最も速いスピードで進化している市場だと言われている。

2. AIが将棋界に与えた悪影響

2.1 プロ棋士の立場

将棋において、AIは絶対だ。この前提のもと、現代棋士は将棋で強くなろうと日々修行している。AIという絶対に越えられない壁がある中で、どれだけ突き詰めようと人間の限界があるし、突き詰めるためにAIを使っている。「AIにどれだけ近いか」が今の強さの基準となっている今、彼らはAIに限りなく近い、という評価を得るために常にプレッシャーの元対局している。

また、AIの台頭はアマチュアを強くした。プロにしか知りえなかつた情報を、今はアマチュアもPC1台で知ることができる。実際に、アマからプロに編入した棋士も何人かいる。去年、奨励会の経験がないアマの小山玲

央氏がプロ入りを果たしたのは記憶に新しい。奨励会に入り、修行を経てプロ棋士になり、将棋を極める道を進む意味とは何なのか。今、プロ棋士の「意義」そのものが問われている。

2.2 個性・創造性の消失

「皆が同じソフトを使って研究する中、どう戦い方に個性を出すか、ということが突き付けられていると思う」 羽生善治（⁴）

前述したとおり、定跡は整備され、AIがどんどん新しい局面を開拓している現状。今まで人間が築き上げてきた定跡はここ十年で大半がAIに塗り替えられている。人間の叡智は、相対的に価値が下がりつつある。そういう環境の中、AIが指示示す「指しやすい」局面をプロ棋士は好む。だから似た局面が頻出する。そのあとの指し手も「AIにいかに近いか」という視点から善悪が判断されるため、彼らの指し手は似たり寄つたりになってきている。

居飛車と振り飛車の関係性が例として最もわかりやすい。現在、AIは居飛車が指しやすいという結論を示している。その結果、プロ棋士の全体局の8割以上が双方居飛車となってしまっている。（⁵）また、戦型や指し手



AIと将棋～その影響と問題の展開を中心とした～

も途中まで一緒にものばかりだ。こういった現状から、棋士の創造性の消失が懸念されている。

前にエンタメ化の観点で将棋はよくなつたと書いたが、かつての将棋ファンからすると個性のない対局を見るのはいささか退屈かつもしない。筆者も確かに昔の棋譜のほうがずっと創造性にあふれた多様な将棋を見ていて楽しいと感じる。将棋の未知のスリルという魅力は消えかかっている。だが、プロ棋士からすれば、創造性を押し出しても勝率は下がらるのだから、抑えててしまうのも仕方ない。

AI がもたらした新たなジレンマがここにある。

3. これからの人間と将棋 AI の向き合い方

AI が将棋界にもたらした影響を分析してきた。AI は絶対の存在でありながら、現在人間との共同研究のパートナーとして存在が確立されている。AI は将棋自体を発展させ、より多くの人に普及するきっかけとなつた。一方、プロ棋士の存在意義や学習依存、創造性の消失など多くの問題もある。現在、実は将棋の競技人口自体はコロナ化も相まって減っている。プレイヤーにとつては、面白みが薄まっているのも事実。

AI はこれからも強くなり続ける。もしかしたらこの先二十年で AI は必勝法を見つけ

出し、将棋を「解く」かもしれない。解かれたらプロ棋士もいるし将棋というゲームの魅力が消失してしまうのではないか。

オセロは AI すでに「弱く解かれた」。^(*)6) 「弱く解かれた」というのは全局面の解析を終えたうえでの結論ではなく、木の枝刈り^(*)7) を使い特定の局面に対しのみ解析。現在は AI が最善を尽くしあうと引き分けになる、と結論付けられている。

だが、「最善」が示されたオセロは、現在多くの人に親しまれている。大会もあるし、世界選手権だって存在している。対人での対局の質が上がり、ゲームとしての深みが増したとさえ言われている。おそらく「完全に解かれる」ことになつても、オセロというボードゲームはその先も続いている。

今すべきは将棋 AI がもたらした多大な影響から目を背けず、二十年後の将棋というボードゲームの存在意義について真剣に議論することではないだろうか。オセロと同じように

未来に進めるかは不確定要素が多すぎるはずだ。将棋界は現状、あまりにも AI の進化に対して倫理的観点からは楽観的だと感じる。なぜ人間は将棋を指し、探求するのか。

^(*)4)『人間の未来／AI の未来』羽生善治 × 山中伸弥 より

^(*)5) 棋譜データベース DB2 より

^(*)6) 2023年10月30日に発表された

論文「Othello is solved」より

^(*)7) 局面を読む際に明らかに要らない手を省く行為のこと。AI は人間と比べてかなり木の枝刈りが甘い。ゆえに人間が絶対に気づけない手を発見することができる。

に親しまれている、二十年後の実現のために。

AI への依存ではなく、共存による発展を。

AI をさらに効果的に使えば、将棋が日本を飛び出して世界に裾野を広げることだって現実にできる。教育ツールとして活用できる。

新たなボードゲームとしての勝負形式を作り出せる。将棋界が AI との共存の可能性を示すことができれば、人類と AI が共存した未来に大きな影響を与えると確信する。

注

^(*)1) 山下宏氏の研究論文より。棋譜の悪手の数に着目した方程式で算出されている。

^(*)2) 山下氏の方程式をもとに筆者が計算。使用ソフトは水匠 vers. 誤差が想定される。

^(*)3) 将棋を指すのではなく、観て楽しむファン層。棋士の姿やごはん、トークや評価値グラフの流れを見て楽しむ。20代以上の女性に多い。

^(*)4)『人間の未来／AI の未来』羽生善治

× 山中伸弥 より

^(*)5) 棋譜データベース DB2 より

^(*)6) 2023年10月30日に発表された

論文「Othello is solved」より

参考文献

[1] 公益社団法人日本将棋連盟

【<https://www.shogi.or.jp/>】(2024年8月)

26日)

[2] 棋譜データベース DB2

[3] 『将棋 AI で学ぶトライアーナンス』

山岡忠夫

〔4〕論文『Pro Shogi Player's Rating and Game Records Analysis』山下宏

〔5〕『AI の衝撃』 小林雅一

〔6〕『AI はどのようにして名人を超えたのか』 山本一成
〔7〕論文『将棋 81 万手強化学習のための多様性を持つた将棋初期局面集』出村洋介・金子知通

「AIによる将棋の進歩」

総集編

将棋の進歩について

7回 岩永 悠太

困ったときに困るを経たのにかかる手数、上がりの攻めに攻めに強さ、横かの攻めに攻めに強さ、田舎のババハスのマツのボヤツトヨウヒのカミロ

で評価せよ。

初心者の方に楽しむの記事ひなつむね。おつむね。

せひお楽しみあれ。

本稿子は「選抜将棋錦路橋2024」を用いて取ったんだから皆様、読みながら読んでね。

わわ。いいじや、「AI」のこの説明が面白いやつ。

本年度は新聞もひばりの記事が提出されたのだけれど、紙面の都合上、全てを掲載できないせじやが、一部を抜粋して掲載したつわつだ。

この際、紙面掲載がないなかの記事について、読者の皆様にアピールせんとした

オンライン版記事は
こちらから↓



いかがだったでしょうか。文中ではかしこつていますが、ちょっと将棋界の現状を整理しているだけです。ですが、AIとの向き合い方を間違えてしまえば、将棋というボードゲームの魅力が失われる可能性があることは否定できません。僕はこれからもずっと、将棋を純粋な気持ちで楽しみ続けたい、そう願うばかりです（終）。



袖飛車のすゝめ

80回 検査

【図1】

袖飛車のすゝめ

【図2】

はじめまして、80回生の椎茸です。早速ですが、この戦法何度も指していて飽きたなあとか、なんか面白い戦法ないかなあと思っている人はいませんか？私はそんな方に本記事で袖飛車という戦法を紹介します。袖飛車は、プロ棋戦でも何度も指されたことのある戦型であり、先手でも後手でも相手の指し手に關係なく指すことができる定跡にとらわれずに指すことができるなどの利点があります。至らない点もあると思いますが最後までお付き合いください。では早く本題に入っていきます。

*袖飛車は先手でも後手でも指すことができますが、先手の時も後手の時も指し手はほとんど変わらないので、今回は先手番の場合のみ紹介します。

初手からの指し手：■3六歩【図1】

(1) 2手目△8四歩の場合
【図1】からの指し手①..

△8四歩 ■3八飛 △8五歩 ■7八金
△4二銀 ■3五歩 △4四歩 ■3六歩
△5四歩 ■3七桂 △3二金 ■7六歩
△3一角 ■6九玉 【図2】



この■3六歩という初手が袖飛車の特徴です。これに対して後手の指し手は主に(1)△8四歩と(2)△3四歩の2通りの手が考えられます。順に紹介していきます。



ここまで自然な進行だと思います。先手はここから■4七銀～■5六銀～■4五歩と仕掛けしていくことになるので、後手は4四の地点を銀2枚で守る指し方が有力になります。また、その中で後手が角を6四置くかそのまま保留するかで先手の指し方が変わってきます。

「1」角を3一で保留する場合..この場合先手は玉を囲い、**▲4七銀**→**●5六銀**→**▲4五歩**と仕掛けていきます。

【図2】からの指し手①..
▲4一玉 **●6八銀** **▲5三銀** **●4七銀**
△5二金 **●7九玉** **△7四歩** **●5九金**
△1四歩 **●5六銀** **△7三桂** **●9六歩**
△9四歩 **●4五歩** **【図3】**

【図3】



△歩
●なし

【図3】からの指し手①..

△同歩 **●3四歩** **△同銀** **●同飛**
△同歩 **●1一角成** **△3三桂** **●同飛**
△同桂 **●3三香** **【図4】**

【図4】



△歩
●なし

【図3】からの指し手②..

△6四銀 **●6六角** **【図5】**

こうなると、飛車と銀香の交換ながら馬が作れ、自陣が飛車の打ち込みにも強いので先手優勢です。なので、**●4五歩**にはとらずに他の手で対応する必要があります。* 同飛のところで**●4五銀**でも調子が良いように見えますが、これには**△8六歩** **●同歩** **△8七歩** **●同金** **△8五歩**という手があり、上手くいきません。

この局面は互角ながら、4四の拠点が大きい事や後手からの指し手が難しいこと、先手に歩が入ればすぐに銀が取れる形であることなどから、先手が指しやすいでしょう。また、**△同銀** **●4四歩**のところで**●同飛**でも良いですが、**△同歩** **●1一角成** **△3三桂**のときに**●4五桂**と跳ねることができないので意外と難しい形勢です。

【図5】



△歩
●なし



袖飛車のすゝめ

「2」6四に角を置く場合..この場合は6四

の角を目標にして指していきます。

【図2】からの指し手②..

△8六歩 □同步△同角 ▲8七歩

△6四角 ▲4七銀 □7四歩 □6八銀

△5一金 ▲9六歩 □9四歩 □7九玉

△4一玉 ▲5八金 □7三桂 【図6】

【図6】



以下は6四の角を目標にした指し方の一例です。

この局面は、後手が△5三角や△4二角のように角を引けば▲8七歩と収めて、▲3四歩△4五銀のように調子よく攻めることができます。また、この局面では△8七歩が最善ですが、▲6七銀直と形を整えておけば、角を5三や4二に引く手には▲3四歩△4四歩、△4一金には8七金と歩を払い△5三角

【図6】からの例..

△5六銀 □3一玉 ▲4五歩 □同步

△6六歩 □5五歩 □6五歩 □8六歩

成(△5六歩) 【図7】

【図7】



このように袖飛車に雁木で対抗する指し方は有力です。しかし袖飛車側としては、角頭が弱いことに気を付けて指せば常に▲4五歩からの仕掛けがあり、局面の主導権を握ることができます。なので、雁木は袖飛車にとつてはあまり恐れなくてもいい戦型ともいえます。

このように袖飛車に雁木で対抗する指し方は有力です。しかし袖飛車側としては、角頭が弱いことに気を付けて指せば常に▲4五歩からの仕掛けがあり、局面の主導権を握ることができます。なので、雁木は袖飛車にとつてはあまり恐れなくてもいい戦型ともいえます。

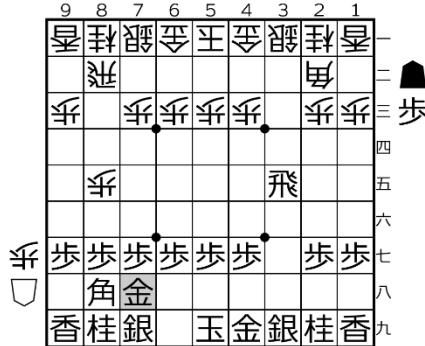
(2) 2手目△3四歩の場合 この場合は、相手が居飛車を指すパターンと振り飛車を指すパターンに分かれます。まずは居飛車のパターンから紹介していきます。

【図1】からの指し手②..

△3四歩 □3八飛 □8四歩 □3五歩 (この局面では他にも▲4八銀や▲7八金、▲7六歩なども有力ですが、今回は▲3八飛と指した手を生かして▲3五歩と積極的につく手を紹介します) △同步 ▲同飛 □8五歩 □7八金

【図8】

【図8】

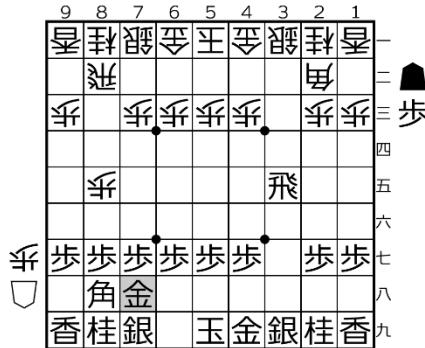


この局面では後手の手は広いですが、 $\square 8$ 六歩と飛車先の歩を交換する手、 $\square 7$ 二銀から早繰り銀を目指す手、 $\square 3$ 二金から駒組をする手の3つが有力です。

「1」 $\square 8$ 六歩の場合

$\square 8$ 六歩 $\blacktriangle 8$ 六歩 \square 同歩 \blacktriangle 同飛 $\blacktriangle 7$ 六歩 [図9]

【図9】

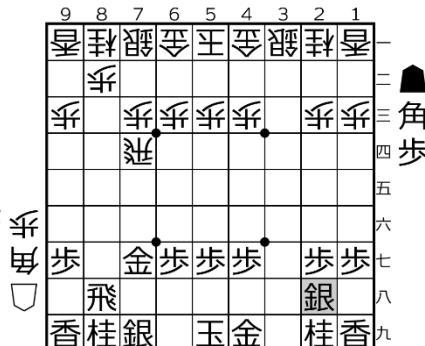


この手に \square 同飛と取ると、 $\blacktriangle 8$ 五飛 $\square 8$ 八角成（この手に $\square 8$ 二歩は $\blacktriangle 2$ 二角成 \square 同銀 $\blacktriangle 9$ 八角） \square 同飛 $\square 8$ 二歩 $\blacktriangle 7$ 七金 $\square 7$ 四飛 $\blacktriangle 2$ 八銀【参考図1】のような進行が一例で、この局面は歩損ながら先手の金銀の働きが後手より良く、先手不満のない形となります。

【図9】からの指し手..

$\blacktriangle 1$ 四歩 [図10] $\blacktriangle 1$ 五歩 \square 同歩

【参考図1】





【図10】



【図11】



袖飛車のすゝめ

先手はこのように中住まいに構えて仕掛けのタイミングをうかがいます。【図10】では、後手の6三の銀が浮いてるので1筋からの仕掛けが成立します。【図11】から、△同香と取る手には黒3四飛△8八角成△同銀△2四角黒3六角【図12】として、銀香両取りをかけることができます。

【図12】



また、【図9】からの指し手中で△7二桂に代えて6三の銀に紐をつける△5二金という手には黒7五歩△同歩黒同飛と歩を交換しておいて、△7四歩黒3五飛△7三桂に黒3六飛【図13】と指しておきます。

【図13】



この展開は、先手からは黒4五歩と位を取る手や黒2六歩～黒2五歩と指す手、黒7七角～黒6八銀と自陣を整える手があり、指し手に困りません。また、【図10】のように後手が一つ間違えればすぐに仕掛けることができます。局面的には互角ですが、後手には気を付けなければならないことが多い、指し手も意外と難しいです。こうしたことからも【図13】は評価値以上に後手に苦労が多い展開といえるでしょう。

〔図8〕 □7二銀から早繰り銀を目指してくる

場合

からの指し手②..

□7二銀
3六飛
7四歩
7六歩
7三銀
3八金
6四銀
4八銀
3一金
5八玉
4一玉
3七銀

〔図14〕

步



〔図14〕からの指し手..

□7五歩
同歩
□同銀
4六銀

△同銀
5五角
7三歩 (この手に代えて □7
7三角は ▲同角成 □同桂
7四歩で先手優
勢 □6四角は ▲同角 □同歩
8三歩 □6一
飛 □8二角で先手優勢です)
▲3七桂

〔図15〕

歩 3



〔図16〕

歩



この局面で後手が □7八成銀としてきてても
同銀で、8八の地点に角が利いていて後手の
飛車は成ることができません。〔図15〕で後
手は □7五銀が最善でこれも難しい将棋です
が、先手からは ▲4五桂 (▲7七桂) のように
左右の桂を活用する手があり、指していくて楽
しい展開です。早繰り銀には8筋をあまり受け
けずに受け流すようにして指すのがポイント
です。

この局面で後手が □8七銀成としてくれば
▲4五桂 (▲5二金) 3三歩 □4二金左
四歩 [図16] として先手優勢です。

後手が早繰り銀の形にしてきた場合も中止ま
いに構えます。この局面から後手が □7五歩
と突いて来ず駒組を進めたら □4六銀 (▲
4五銀) 3七桂と指します。これも一局で
す。



「3」 □3二金から駒組をしてきた場合

この場合は「1」の□8六歩の場合とあまり指し方は変わらないため割愛させていただきます。

【図17】



□3四歩 ▲3八飛 □3二飛 ▲4八銀
□4二銀 ▲6八玉 □9四歩 ▲9六歩
□6二玉 ▲7八玉 □7二玉 ▲4六歩
□5四歩 【図17】

ここまででは後手が居飛車の場合の指し方について紹介してきましたが、ここからは後手が振り飛車の場合の指し方について紹介させていただきます。振り飛車といつても様々な種類がありますが、今回は三間飛車についてのみ紹介します。

【図1】からの指し手③..

袖飛車のすゝめ



【図18】



この局面からは、▲2六歩 → ▲2五歩 → ▲2八飛として居飛車にし直す指し方が有力ですが、今回を飛車は3八のままにした指し方を紹介します。

【図17】からの指し手..

▲7六歩 □4四歩 ▲4七銀 □5二金
▲5八金 □8二玉 ▲5六銀 □7二銀
【図18】

この局面からは、▲7七角 → ▲8八銀 → ▲8六歩と銀冠に囲い持久戦を目指す指し方や▲8八金直として仕掛けしていく指し方などがあります。

「1」持久戦を目指す場合
【図18】からの指し手①..

▲6八金右
【図19】

【図19】



☗なし

△なし

この局面は先手が良い形である銀冠穴熊に組むことができ、強く捌きに出ることのできる局面なので先手に不満はありません。

「2」☗6八金直から仕掛ける場合

【図19】からの指し手②

☗6八金直 △5三銀 ☗4五歩 △同歩 (△4二飛には☗3五歩 △4五歩 ☗2二角成 △同飛
3四歩) ☗2二角成 △同飛 ☗3五歩 △4四角

☗3七桂 △3五歩 ☗4五銀 △5五角
☗3五飛 △3四歩 ☗同飛 △3三歩
☗3七飛 【図20】

【図20】



☗角歩3

△なし

この局面は決して仕掛けがうまくいったといえませんが、△同角成 △同桂の局面は、△3九飛には☗2六角 【図21】 がぴったりで、意外と難しい局面です。

このように、袖飛車は対居飛車だけではなく対振り飛車でも使用することができます。特に三間飛車で袖飛車になると、振り飛車側から△3五歩と突かれることがないので持久戦に持ち込みやすい(穴熊に組みやすい)です。袖飛車側が無理に仕掛けることもできますが、やや無理筋になってしまいしまう場合もあるので、私は持久戦に持ち込むことをお勧めします。

【図21】



☗角歩3

△なし



今回は袖飛車について紹介させていただきました。袖飛車は、定跡から外れながらも様々な戦型に対して互角かそれ以上に戦うとのできる優秀な戦法です。この部誌を読んだことをきっかけに一度袖飛車を指していただき、袖飛車の面白さ、奥深さに気づいていただけたら筆者としてこの上ない喜びです。ここまで読んでいただき、ありがとうございました。

袖飛車

現代角換わり腰掛け銀の仕掛け

79回 山根 識

「ゴキゲフ」中飛車を描きついで

現代角換わり腰掛け銀の仕掛け

近年流行の戦法、角換わり腰掛け

銀「**一四八金二九飛型**」における先手の仕掛けについて紹介。冊子版にも匹敵する分量に注目！特に、居飛車等の方はご覧あれ。

オンライン版記事は
こちらから↓



オンライン版記事は
こちらから↓



何か得意戦法を見つけたる読者の皆様にピシタつの「ゴキゲフ」中飛車の指し方や定跡などを、筆者がつかりそれを学び始めた経験を少し締めて話します。

80回 ラノリナガ

⑥七銀型角交換振り飛車

80回 石川 大智

この記事では少し珍しい角交換振り飛車について紹介していきたいと思います。1つの戦法を指し続けるのに飽きてきた方は是非試してみてください。

まず、駒組の大まかな流れを解説します。この戦法は自ら角交換をした後、飛車、金、銀、桂馬を左辺にバランスよく構えて、玉の固さではなく、攻めやすさに重点をおき、一方的に成駒を作つて攻め潰すという流れで指していきます。

では詳しく見ていきましょう。

初手からの駒組

7六歩△3四歩 2二角成△同銀
7八金△3三銀 6八銀△3二金
6六歩△8四歩 6七銀△6二銀
7七桂△4一玉 6八飛【第1図】



【第1図】

・【第1図】以下の指し手

△8五歩 黑4八玉 △6四歩 黑3八玉
△7四歩 黑2八玉 △6三銀 黑3八銀
△7三桂 黑6五歩 【第2図】

【第2図】



ここまでが序盤の駒組です。後手の多くは角道を開けてくるので第1図の形に持ち込みやすく、相手が居飛車なら大体指せるというのもこの戦法の良い点の一つです。次に第1図以下の変化を見ていきましょう。後手の対応として①6三銀7三桂型②速攻棒銀型③持久戦型④右四間飛車型の主に4つのパターンがあります。それを見ていきましょう。

①対6三銀7三桂型

後手の6三銀7三桂型は角交換振り飛車の一般的な対策ですが、今回紹介する角交換振り飛車には逆効果で、先手は玉形の硬さを活かしてどんどん攻めることができます。

・【第2図】以下の指し手

△同歩に黒5六銀と出て次の4六角打を狙います。この4六角という手は対6三銀7三桂型において非常に有効な一手です。黒5六銀



⑥七銀型角交換振り飛車

に對して後手が4六角打を受けなければすかさず4六角を打ちましょう。この手は7三の桂取りであるため後手は受けますが、7一金や6二金、8三飛などとすると先手に角の効きを生かされて6五桂と跳ねられるため、後手は6四角と受けるしかありません。そして

【第3図】

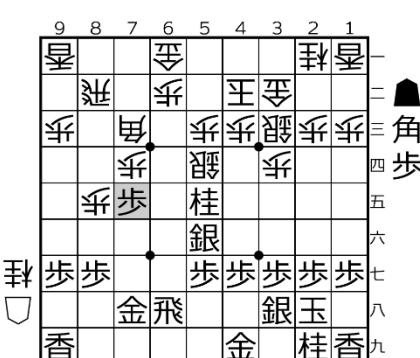


【第3図】
なし

先手が指しやすい展開になります。また、4六角は後手の5五角からの3六桂など美濃囲いの弱点である玉のこびんを狙う手を防ぐ役割も担っています。

よって後手は7-5 Silverに対し先手の4六角を未然に防ぐ6四角を打つくらいしかありませんが、6五桂、6二歩、7三桂成、7同角、5五桂打、5四銀、7五歩【第4図】と先手の攻めが続き先手が有利です。

【第4図】
角歩



このように、この戦法を指す上で4六角は重要な一手なので形の違う6三銀、7三桂型にも隙があれば積極的に打つとよいでしょう。

【第3図】以下、同角、同銀、6五桂と跳ねる同桂なら、同銀、同銀、同飛と飛車先を突破でき、後手の玉形の薄さもあって先手優勢。また、6五桂に7-6二金としても7三桂成、7同銀、7五歩と先手の攻めが厳しく

②対速攻棒銀型
次は後手が早々に棒銀から8筋突破を狙ってくる場合を見てきます。後手の勢いのある攻めを受ける手を見ておきます。
・【第1図】以下の指し手

△8五歩、△4八玉、△7四歩、△3八玉、△7三銀、△6九飛、△8四銀、△8九飛【第5図】

【第5図】
角



8五歩 黒 8八飛 △ 7六歩 黑 同銀 [第6図] と
次に8五銀と歩を取りながら銀を進出するこ
とができる先手が優勢です。

[第6図]



また、黒 8六歩に対し△ 7六歩と取りこんで
きても、黒 同銀 △ 8六歩 黑 同飛 △ 8五歩 黒 8
八飛 [第7図] と進みます。

[第7図]



以下先手は 黒 4六角 △ 7三角 黒 同角成 △ 同銀
黒 6五桂 △ 6四銀 黑 8三歩 [第8図] という
攻めが厳しく先手が優勢となります。(△同飛
には 黒 7四角で大優勢)以下 △ 7一飛に 黑 7七
歩で後手は指す手が無くなります。

[第8図]



③対持久戦型

後手が穴熊、平矢倉、金矢倉、総矢倉などの
固い囲いを目指してきた場合、先手は浮き飛
車から飛車を回して7筋からの攻めを目指し
ます。今回は総矢倉を例に取って駒組を紹介
します。後手が2二の地点まで玉を囲つたら
持久戦となります。後手は6五の地点で争点
を作らせないために7四歩、6四歩を突かず
5四歩から5三銀として6四の地点を守るの
が特徴です。ポイントは後手の持久戦を判断
したら、できるだけ早く7五歩、6五歩と7
筋と6筋の位をとることです。では順に見て
いきましょう。



・[第1図]以下の指し手

△5一金 ▲4八玉 △3一玉 ▲3八玉 △2一玉
▲7五歩 △5四歩 ▲6五歩 [第9図]

[第9図]



・[第10図]



・[第10図]以下の指し手
△4五歩 ▲7四歩 △同歩 ▲同飛 △7三歩 □
六飛 △3三桂 ▲6七銀 △2四歩 ▲6一角打 7

[第11図]



先手の6七銀と引く手は地味な一手ですが3筋や4筋からの攻めを飛車の横効きを通して受けることができます。
そして対持久戦型に最も使う手が6一角という手です。この手に対し後手が何もしないと次に7二歩と打つことができます。7二歩は次の7一步成を狙った手なので、後手が歩成を受けるために6二銀と引いても6一角の効果で5一角成と馬を作れて先手が優勢になります。

よって、後手は先手に7二歩を打たれる前に何か対策をする必要があります。

後手が2二玉と持久戦の構えを見せてきたら早めに7筋と6筋の位を取りましょう。

・[第9図]以下の指し手

△5三銀 ▲2八玉 △1四歩 ▲1六歩 △9四歩
▲9六歩 △4四歩 ▲3八銀 △4三金右 ▲5六銀
△3五歩 ▲6六飛 △3四銀 ▲7六飛 [第10図]と先手は7筋を狙っています。

・【第11図】以下の後手の対策

△4二金寄 □7二歩 △6二銀とされると先手の5二角成と7一歩成を防がれてしまいますが、先手の6一の角はすぐには取られないのでその間に△4六歩△同歩 □4同飛△4五歩 □6六飛と歩を交換して次に△6四歩△同歩 □6三歩△同銀 □7一步成【第12図】を狙うと良いでしょう。

アマチュアの間で人気の右四間飛車に対する指し方は主に2つあります。一つ目は「後手の7三桂を待たずに速攻を仕掛けよ」という指し方です。

・第1図以下の指し手

△6四歩 □4八玉 △6三銀 □3八玉
△6二飛 □4八金 △5四銀 □5六銀
△5一金【第13図】

【第12図】



【第13図】



事と後手の桂馬が7三に来る前に攻めることです。理由は簡単で後手の玉の囲いが薄く、駒を交換したときに玉の安全度が異なるからです。

△6五歩△同歩 □同銀△同銀 □同飛△同飛
同桂△6九飛打 □6一飛打【第14図】

【第14図】



後手の持久戦の形が違つても6一角からの7二歩は有効なので常に狙いたい一手です。

④対右四間飛車型

先手は飛車、銀、桂馬の攻めの陣形が完成しました。後手はまだ桂馬が攻めに参加していない。ここで仕掛けていきます。ポイントは後手玉が4二の地点に居るうちに仕掛ける

第図では飛車と銀が交換になり、互いに飛車を打ち下ろした局面です。後手玉が先手に比べて薄いため、次に△4一銀や△5三桂成△同玉 □6九飛成を狙う手が生じて先手大優勢です。



(6)七銀型角交換振り飛車

2つ目は後手が8四歩を突いてから右四間飛車にする場合にのみ成立する攻めです。

・【第1図】以下の指し手

- △6四歩 ▲4八玉 △6三銀 ▲3八玉
- △6二飛 ▲2八玉 △5四銀 ▲5六銀
- △5一金 ▲3八銀 △7四歩 ▲4六歩
- △7三桂 ▲8三角 【第15図】

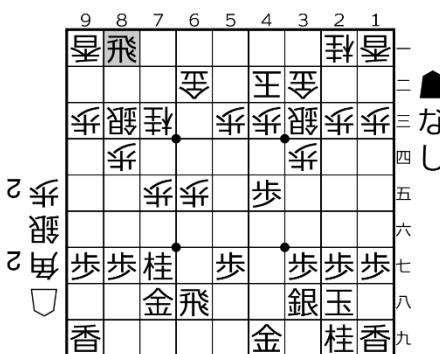
【第15図】



・【第15図】以下の指し手

- ▲6五歩 △同步 ▲7五歩 △同步 ▲4五銀 △同銀
- ▲6二銀成 △同金 ▲8一飛
- 【第16図】と相手陣に飛車を打って桂香を取りれば先手が指しやすい展開になります。

【第16図】



解説は以上です。最後まで読んでいただきありがとうございました。

後手が8四歩とした効果でできたスペースに8三角と打ち込みます。以下▲7四角成を防ぐために△6三金と受けできますがここから先手は6五歩から一気に攻めていきます。

空中楼閣

18回 タナト

『空中楼閣とは、図のよじに玉が4段田につる、「中段玉は寄せたして」という格言を体現した超浪漫囲いでじか。』

全筆者の中じか最も若い部員の彼が、書いた記事、一読ください！

オンライン版記事は
こちらから↓



三間飛車＆四間飛車対策～こいなぎ流銀冠～

80回 かつお

みなさんは三間飛車や四間飛車に対してどのように指してますか？私は居飛車党なので、今回は居飛車視点での対策を紹介したいと思います。振り飛車党の方は、こんな指示もあるんだなあくらいの感じで見ていただけると嬉しいです。

今回紹介する振り飛車対策は「こいなぎ流銀冠」です。この戦法は将棋Youtuberのいなぎ氏が考案した戦法です。いなぎ氏といえば中飛車対策の「こいなぎ流右玉」が有名だと思うのですが、これは知名度が高すぎて、ある程度の対策が確立してしまっているので、今回はこいなぎ流銀冠を紹介しようと思います。この戦法は基本的に、相手が三間飛車か四間飛車で美濃囲い、もしくはそこから組み替えて銀冠にするパターンのときに有効です。

初手からの指し手

◆1六歩△3四歩 7六歩△4四歩
◆2五歩△3三角 4八銀△3二飛
◆6八玉△4二銀 5六歩△6二玉
3六歩△9四歩 9六歩△7二玉
5八金△8二玉 5七銀△7二銀
3七桂△5二金 4六銀【第1図】

【第1図】



まず、早めに4六銀3七桂の形を作ります。
◆3七桂のタイミングで△1五角には◆4六銀として問題ありません。

【第1図】からの指し手

△4三銀 7八玉△5四歩 8六歩
△6四歩 8七玉△7四歩 7八銀
△6三金 6六歩△8四歩 6七金【第2図】

【第2図】

こちらは一旦天守閣美濃組んでいきます。このときの注意点は、相手の△6三金を見て、△6六歩としなければならないことです。相手に△6五歩と位を取られてしまうと理想形に組めません。

【第2図】からの指し手

△8三銀 7七桂△7二金 7九角
△7三桂 8八玉△4一角 8七銀
△3一飛 7八金△3二飛 1六歩
△1四歩 2六飛【第3図】





【第3図】



これがこの戦法の理想形です。これで自陣整備が終わつたので、ここから攻めていきます。また、相手が手待ちをしているのは、攻めても無理攻めになるからです。

【第3図】からの指し手

△3一飛 ▲3五歩 △3二飛 ▲3四歩
△同銀 ▲3六飛 △5三角 ▲5五歩

【第4図】

三間飛車＆四間飛車対策～こいなぎ流銀冠～

【第4図】



▲3五歩に対しても△同歩とするのは同銀と取つて攻めが加速するので取れません。同銀の場面から、こちらの攻め方は①▲5四歩～④三銀と②▲2四歩～▲2二歩の2つがあります。

【第3図】

①【第4図】からの指し手
△同歩 ▲5四歩 △同金 ▲3四飛
△同飛 ▲4三銀

【第5図】

②【第4図】からの指し手
△3一飛 ▲3五歩 △3二飛 ▲3四歩
△同銀 ▲3六飛 △5三角 ▲5五歩

2つ目の攻め方です。
△5四歩に対しても角を逃げるには、△5五銀と出て後々▲6五歩△同歩▲6四歩のように拠点ができるこちらとしては満足です。そのため△5四歩には△同金としますが、それに△5四飛と飛車を切つてしまつて、△同飛は△3四飛と打てば、飛車金両取りがかかりに△4三銀と打てば、飛車金両取りがかかりて、金が取れれば飛車と金銀の2枚換えてこちらが有利です。これが最善手順なのですが、攻め駒が成銀と持ち駒の金だけなので、ここから勝ち切るのは少し大変です。そこで



【第5図】





今度は△同步に対し、■同銀と取つていきます。もちろんこれに対する手は△5四歩と受けますが、■4六銀と引いておいて、もしここで△3一飛のように手待ちをしてきたら、■2四歩△同歩、■2二歩としていきます。△1三桂と逃げても、■2一步成で、これを取ると銀を取れます。

桂を逃げても攻めが加速するだけなので、相手は△3五歩とするぐらいです。これには■同銀△同銀、■同飛△同飛、■同角としていきます。ここで後手の△3九飛に対しても、■4六角と引いておけば先手有しです。ここからは△5一銀と打つて何もしなければ金を取り、△6一金とされても、■4三銀成とすれば角を取れます。



- (2) 【第4図】からの指し手
 △ 同歩
 ■ 同銀
 △ 5四歩
 ■ 4六銀
 △ 3一飛
 ■ 2四歩△同歩
 ■ 2二歩
 【第6図】

歩 2

歩 銀 遊 2



- 【第6図】からの指し手
 △ 3五歩
 ■ 同銀
 △ 同銀
 ■ 同飛
 △ 同飛
 ■ 同角
 【第7図】

歩



なし

- 【第8図】
 ■ 2六歩△3四歩
 ■ 2五歩△3三角
 ■ 2六歩△9四歩
 ■ 3七桂
 【第8図】
 2六歩△4四歩
 2五歩△3三銀
 2六歩△9六歩
 3八玉△8二玉
 3七桂
 2六歩△4四歩
 2五歩△3三銀
 2六歩△6一玉
 5八金△8二玉
 5七銀△7一銀

今回は三間飛車を例に挙げていますが、この戦法は四間飛車に対しても有効で、早めに4角型の銀冠に組めばいいです。ただ四間飛車の場合は三間飛車と違つて、相手から早めに仕掛けてくる変化があるので紹介します。

初手からの指し手



三間飛車＆四間飛車対策～こいなぎ流銀冠～

ここまでには【第1図】の飛車の位置が三筋から四筋に変わっただけです。次に相手が何もしなければ、▲4六銀と指して、理想形を目指して駒組みしていきます。

【第8図】からの指し手

△4五歩 ▲5五歩 【第9図】

【第9図】



【第9図】からの指し手
△5二金 ▲1六歩 △4六歩 ▲4五桂 【第10図】

【第10図】



今回はこいなぎ流銀冠について紹介させていただきました。この戦法は理想形に組めたらほぼ負けないくらい強いので、みなさんも指してみてください。ここまで読んでいただき、ありがとうございました。

相手から△4五歩と仕掛けてくる手に対しても、▲5五歩とするのがおすすめです。この手は、相手の角道を止めつつ、5筋の位を取るという意味があります。

▲1六歩は大事な一手で、▲4五桂のときに△1五角とされるのを防いでいます。この後は、△2二角や△4四角と角を逃げると▲4六歩と取つておいて、次に▲2四歩や▲5四歩があり、こちらが有利です。また、角を逃げずに△4七歩成としてくる手に対しては、▲同金としておけば依然角取りで、先手有します。

あとがき

さて、本冊子「灘校将棋部部誌 2025」はいかがでしたでしょうか。
第 79 回 灘校文化祭 “weave” はまだまだ続きます！
ぜひ他のブースやステージもお楽しみください！

文化祭後も何度も部誌を隅々まで味わってもらえたなら嬉しいです。
ぜひ、オンライン版の記事も楽しんでください！

来年以降の灘校文化祭、灘校将棋部につきましても、
どうぞよろしくお願ひいたします。

灘校将棋部部誌 2025 編集者 米田 遥希

2025 年度 灘校将棋部部誌

2025 年 5 月 2 日 初版発行

発行者 灘校将棋部 Email : nadashogiclub@gmail.com

代表者 小森龍太郎

編集者 米田遙希

印刷所 文化委員会 総務課 印刷班

製 本 灘校将棋部部員一同

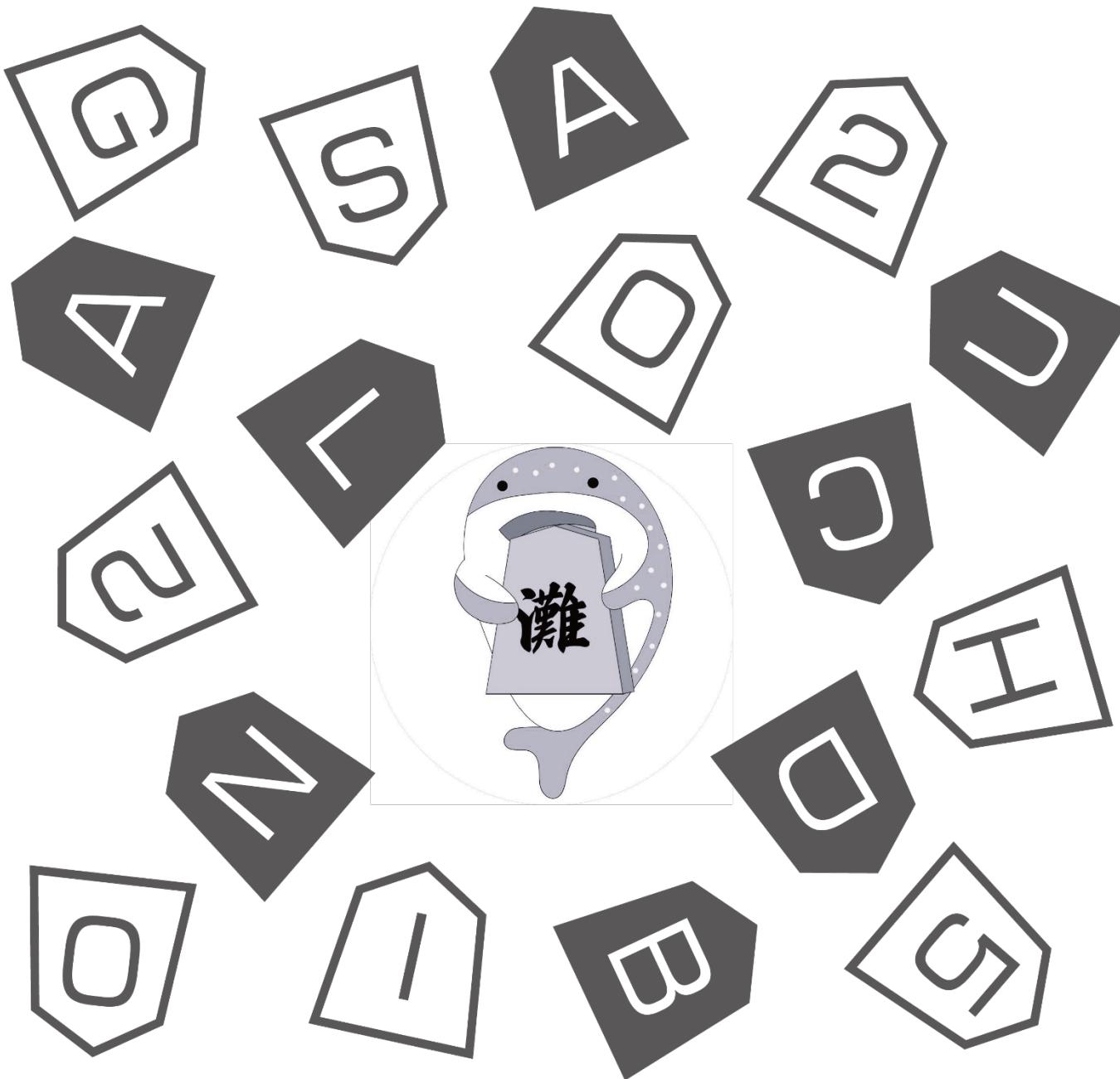
本書は非売品です。

無断転載および転売を禁じます。

©2025 NADA Junior and Senior High School

SHOGI CLUB

万が一乱丁・落丁等ございましたら、文化祭当日、将棋部ブース(高校 1 年 1 組教室)にて、
部員にご相談ください。お取替えできる可能性がございます。



ONLINE VERSION CONTENTS

- | | |
|----------------|----------|
| 将棋の囲いについて | 79回 安永悠太 |
| 現代角換わり腰掛け銀の仕掛け | 79回 山根識 |
| ゴキゲン中飛車を指そう! | 80回 アゴキオ |
| 空中楼閣 | 81回 タナト |

などなど、オンライン版でもたくさんの記事が公開中です。

ぜひオンライン版もご覧ください!



オンライン版でも
お楽しみください!